

麗気烈風

令和3年4月13日(火)

文責 村田和人

～【 出会いを大切に 】～

新2年生、新3年生の皆さんは先週の就任式、始業式で、新1年生の皆さんは昨日の入学式で新たな友達や先生に出会いました。

「出会いは人を創り、別れは人を深める。」と言います。人がどのような人生を送るかは、その人生の中で、誰に、どのように出会ったかによって大きく左右されると思います。その昔、教育学者・森信三氏はその著書の中で「人は出会うべく人に必ず出会う。しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎず。」と述べました。出会いは偶然ではなく必然であると思ひ、出会った人々からたくさんのお話を学んでほしい。森氏はそう伝えなかったのではないかなと思います。

さて、新たな友達との出会いを、本当に大切にするためには、「2つのやさしさ」(これは始業式で、2, 3年生に話したことです。)を持ってほしいと思います。

まず、「してあげるやさしさ」です。これは、困った人を見つけたら、声をかけてあげる、手伝ってあげる、助けてあげるやさしさです。このやさしさは家族や親しい友達には向けることができますが、クラス替え等で出会ったばかりの人にはなかなか向けることができません。

新学期が始まり、まずは教室で一人になっている生徒、理科室や音楽室等特別教室に移動するとき一人で歩いている生徒に自分から積極的に声をかけてあげてください。友達づくりが苦手な、学校なんて・・・と思っている生徒にとってどんなに嬉しいことでしょうか。その一言で「明日も学校に来よう!」と思ってくれるはずですよ。

2つ目のやさしさは「しないやさしさ」です。今、自分がこんなことを言ったら、こんなことをしたらこの人はきっとつらい思いをするだろう。だからしないでください。こんなことを自分がされたらきっといやだと思ふから、人にするのはやめてください、と思うやさしさです。このやさしさは最初やさしさよりちょっと難しいかもしれません。



人は笑顔でも目が笑っていない時があります。心の中につらいことや悲しいこと、悩みごとを抱えていると、心の底から笑うことはできません。でもみんなが楽しそうだから、その雰囲気を壊してはいけない。そんな思いで一生懸命になって笑顔をつくろうとする時があります。

「しないやさしさ」を持っている人は、友達のそんな苦しみ、つらさを瞬時に気づき、言うてはいけないこと、やめてはいけないことはぜったいにしない、という判断力を持っています。

鹿南中生の皆さん、令和3年度がスタートしました。2つのやさしさを使い分ける「やさしさの達人」となって、ぜひ、クラスメートや先生たちとの出会いを一生の財産にしてほしいと思います。

～【 麗気烈風 】～

鹿南中に赴任して2週間経ちました。春休みに練習のために登校してきた部活動生は、どの部も、どの生徒もさわやかに、きびきびした動作であいさつしてくれました。

始業式の前の就任式の時に、ステージに立って初めて見る鹿南中生は、一糸乱れぬ動作で正座をし、深々と礼をしてくれました。

一時が万事です。これほど感動的なふるまいができる鹿南中はきっとすばらしい学校だろうと確信しました。

この素晴らしい、澄んだ空気を是非家庭や地域、そして日本中に発信したいとの願いを込めて、今年度の学校通信のタイトルを「麗気烈風」(れいきれっふう)としました。「麗気」という言葉は私の造語です。鹿南中の澄んだ、きれいな文化、空気を、みんなの力で強い風、烈風として至る所に発信していきたいと思ひます。

今日から全学年が揃います。一人一人の生徒が毎朝希望をもって登校し、そして達成感をもって帰宅できるように、職員一同、心を合わせて努力いたします。ご家庭でも学校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



保護者の皆様へ。SNSによるトラブルが全国的に頻発しているようです。毎日とは申しませんが、少なくとも週1回は子どもさんのスマホをチェックしてあげてください。子ども達を、スマホによるトラブルの被害者にも、加害者にもしたくありません。どうかご協力をお願いします。学校と家庭で力を合わせて、子ども達を守りましょう。

